



学校だより 11月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和元年10月31日

横浜市立石川小学校

校長

寺園 淳

目標に向かうことで

校長 寺園 淳

ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍に、にわかファンの私も思わず、試合のテレビ中継を見ながら大きな声で声援を送っていました。プレーが進む中で相手にタックルをされても最後まであきらめずにボールをつないでいく（オフロードパスという言葉も覚えました）姿に感動すら覚えました。あの姿はいろいろな意味で私たちを勇気づけてくれたと思います。また、日本代表リーチ・マイケル主将はインタビューの中で、台風で被災された方々にお見舞いの言葉を述べるとともに、全力でプレーすることでエールを送りたいと答えていました。このメッセージは、私たちがともに支え合うことの尊さを改めて考える機会となりました。

今月は全校長縄集會が開かれました。子どもたちのアイディアで、集會当日までの練習の経過を掲示しました。練習が終わるたびに昇降口に掲示された「がんばりま表」の前には、成果を確かめようと多くの子が集まっていました。結果を見て、各学級でさらに記録を伸ばそうと友達と励まし合いながら練習が続きました。校庭から校長室に聞こえてくる子どもたちや教員の声に温かいものを感じました。集會当日、それぞれの目標に向かうエネルギーが全校にあふれていました。

また、5年生、4年生の宿泊体験学習も実施しました。どちらの学年も「主体性を育てる」ことをねらいとし、活動を進めました。子どもたちはスローガンを達成するために、自分たちで何をすればよいのか考え、行動していました。私がそれぞれの学年の集いを見に行くと、そこには歌やゲームを仲間と楽しむ、生き生きとした子どもたちのこぼれんばかりの笑顔がありました。その笑顔から子どもたちの目標を達成した満足感を感じ取りました。

6年生が横浜市立小学校体育大会に参加しました。この大会は今年で69回の開催を数えます。保護者の皆様の中には、この体育大会に児童として参加された方も少なくないのではないのでしょうか。是非この機会にご家庭で話題に取り上げていただければと思います。大会では6年生が全員で演技「Let's Dance With YOKOHAMA」とクラスの最高記録をめざす長縄跳びに参加しました。この演技は横浜市の6年生全員が取り組みました。だからこそ子どもたち自身が演技に取り組んだ成果を、自分たちで感じることができます。学校に戻り、演技の映像を見ながら振り返ることで、自分たちが最高の演技にしようとして一生懸命に取り組んだ姿を確かめることができました。長縄跳びについてもそれぞれの最高記録をめざし、みんなが笑顔で挑んでいました。結果、それぞれのクラスで最高記録を更新することができました。

目標に向かい、一生懸命に取り組むことができる、これが石川の子どもの素晴らしいところです。私はこの素晴らしさのバトンをいつまでも引き継いでほしいと願っています。

